

『営業地区内の景気動向調査』

- | | |
|---------|---|
| 1. 調査内容 | 平成22年1月～3月期の実績
平成22年4月～6月期の予想 |
| 2. 調査対象 | 当金庫営業地域内の企業 合計 60社
(業種別内訳) 製造業 21社 卸売業 4社
小売業 13社 サービス業 6社
建設業 12社 不動産業 4社 |
| 3. 調査担当 | 江差信用金庫
業務推進部 業務企画課 |

☆目次☆

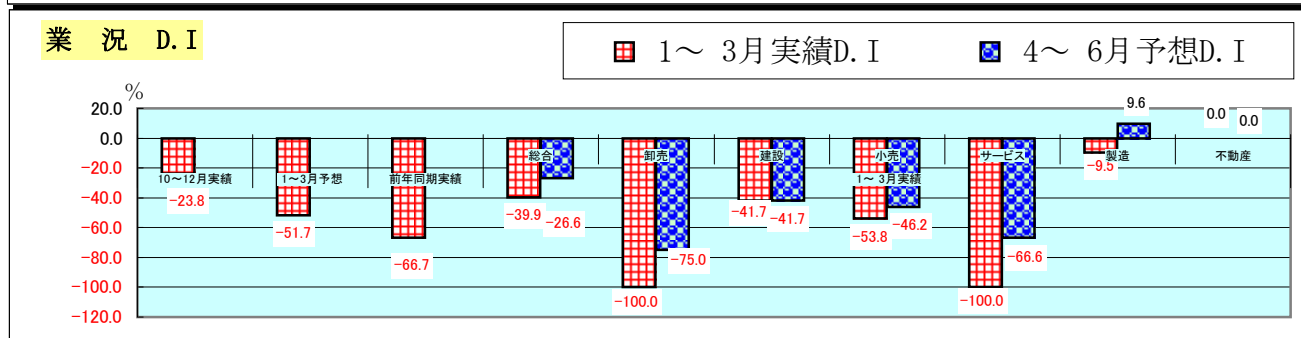
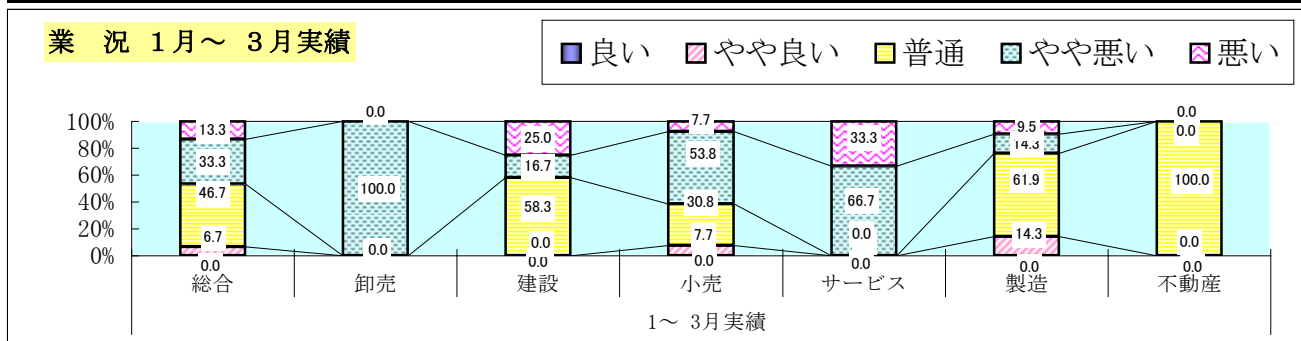
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査～デフレ不況下の中小企業経営…①	P. 19
特別調査～デフレ不況下の中小企業経営…②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概 況

概 況	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						-23.8	
1～3月予想						-51.7	
前年同期実績						-66.7	
1～3月実績 総合	0.0	6.7	46.7	33.3	13.3	-39.9	-26.6
卸売	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0	-75.0
建設	0.0	0.0	58.3	16.7	25.0	-41.7	-41.7
小売	0.0	7.7	30.8	53.8	7.7	-53.8	-46.2
サービス	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	-100.0	-66.6
製造	0.0	14.3	61.9	14.3	9.5	-9.5	9.6
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



◇ [当金庫の窓口からみた中小企業の景況]

平成22年1月～3月期（今期）の業況判断D.Iは季節的要因から▲39.9となり、10月～12月（前期）に比べ16.1ポイント悪化しました。

ただ、前年同期比では26.8ポイントの改善を示しました。

前期比での売上額判断D.Iは36.7ポイント減少し、収益判断D.Iも21.6ポイント減少しました。

平成22年4月～6月期（来期）の予想業況判断D.Iは▲26.6と今期実績比13.3ポイントの改善が見込まれるものの、依然として厳しい見通しとなっています。

◇ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫総合研究所調べ）

平成22年1月～3月期（今期）の全業種総合業況判断D.Iは、前期比1.2ポイント改善の▲47.3となり、前期の▲48.5から小幅な改善にとどまったが、これまでリーマンショック以前で最悪の実績値であった平成14年1月～3月期の▲47.9をわずかに上回った。収益面では、前年同期比売上額判断D.Iが▲39.5と前期比10.9ポイントの大幅改善となった。設備投資実施企業割合は15.1%と、前期比0.3ポイント下落となった。業種別の業況判断D.Iは、まちまちとなり、卸売業とサービス業は前期比悪化となった。平成22年4～6月（来期）の全業種予想業況判断D.Iは、今期実績比2.1ポイント改善の▲45.2と、小幅ながらも5四半期連続の改善見通しとなっている。また、地域別の予想業況判断D.Iは、まちまちの結果となっている。

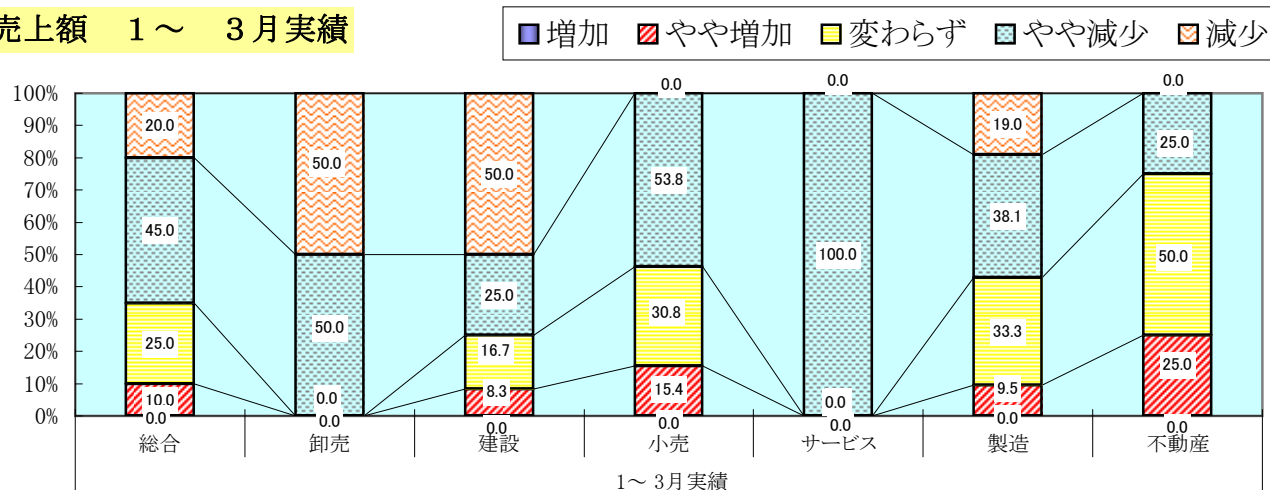
《注》 DI(判断指数) …「増加・やや増加」「上昇・やや上昇」と回答した企業の全体に占める構成比から「減少・やや減少」「下降・やや下降」と回答した企業数の構成比を差し引いた数値

2. 前期に比べた動き

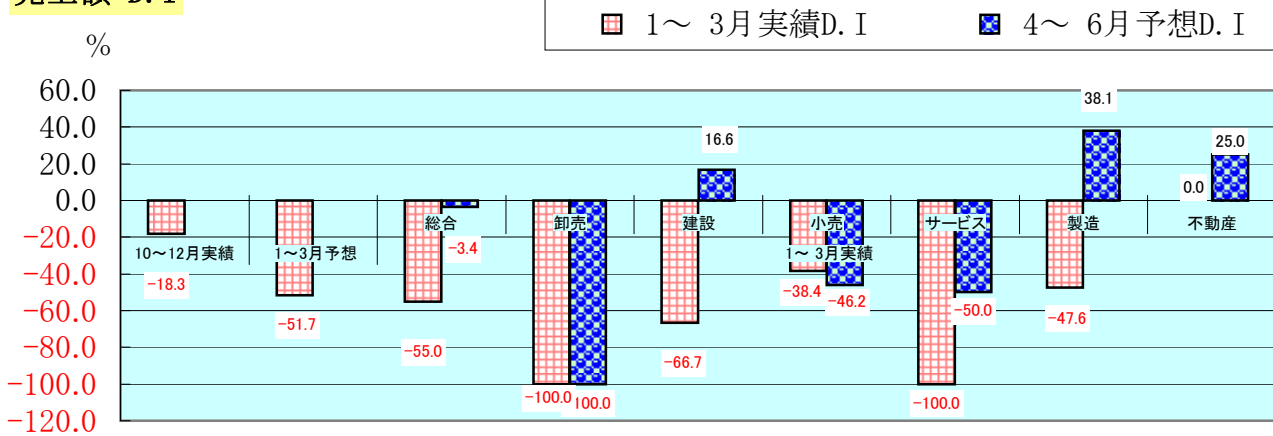
(1) 売上額の動き

売上額	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						-18.3	
1～3月予想						-51.7	
1～3月実績							
総合	0.0	10.0	25.0	45.0	20.0	-55.0	-3.4
卸売	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	-100.0	-100.0
建設	0.0	8.3	16.7	25.0	50.0	-66.7	16.6
小売	0.0	15.4	30.8	53.8	0.0	-38.4	-46.2
サービス	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0	-50.0
製造	0.0	9.5	33.3	38.1	19.0	-47.6	38.1
不動産	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0

売上額 1～3月実績



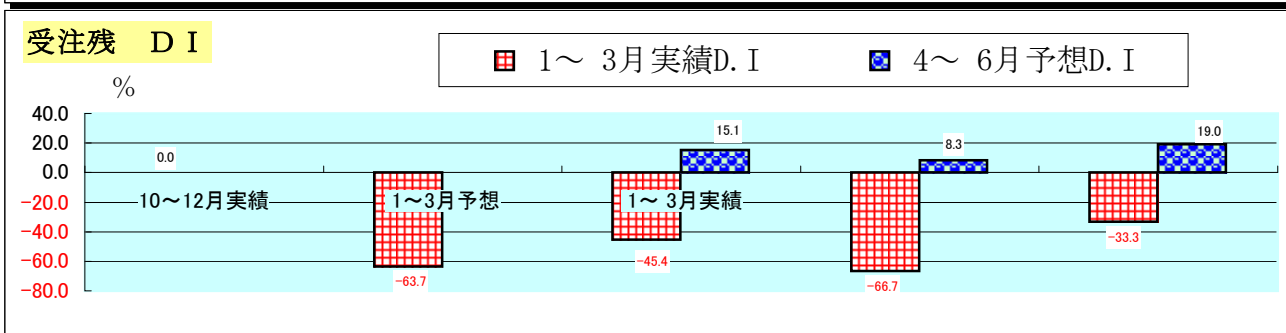
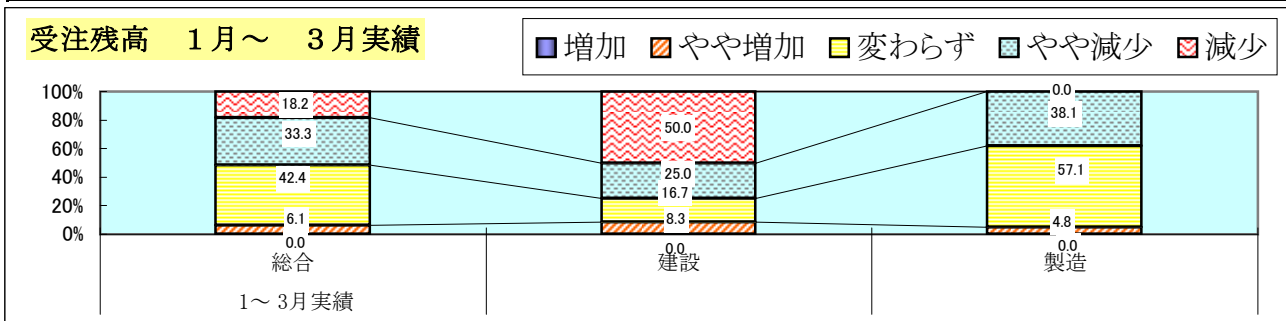
売上額 D. I



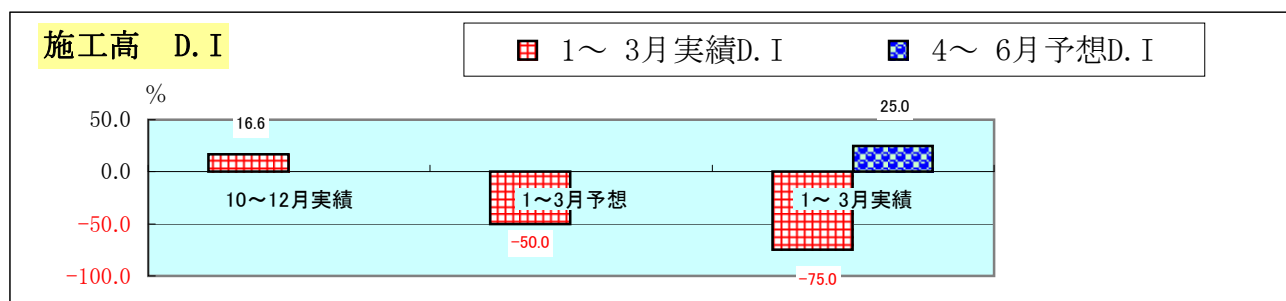
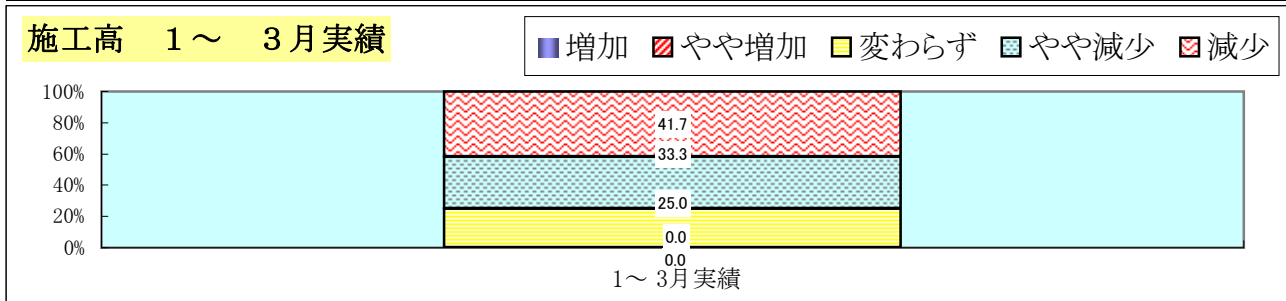
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の10.0%、「減少」「やや減少」した企業は65.0%を示し、D. Iは▲55.0となりました。
- 今期実績は、前期実績D. Iの▲18.3から36.7ポイント下降を示し、前回調査における今期の予想D. I ▲51.7からも3.3ポイント悪化を示しました。
- 業種別の今期D. Iは、不動産業を除きマイナスを示しました。
- 4～6月期の売上額予想D. Iは▲3.4で、1月～3月実績より51.6ポイント上昇を予想しています。

(2) 受注残・施工高の動き

受注残高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						0.0	
1～3月予想						-63.7	
1～3月実績 総合	0.0	6.1	42.4	33.3	18.2	-45.4	15.1
建設	0.0	8.3	16.7	25.0	50.0	-66.7	8.3
製造	0.0	4.8	57.1	38.1	0.0	-33.3	19.0



施工高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						16.6	
1～3月予想						-50.0	
1～3月実績	0.0	0.0	25.0	33.3	41.7	-75.0	25.0

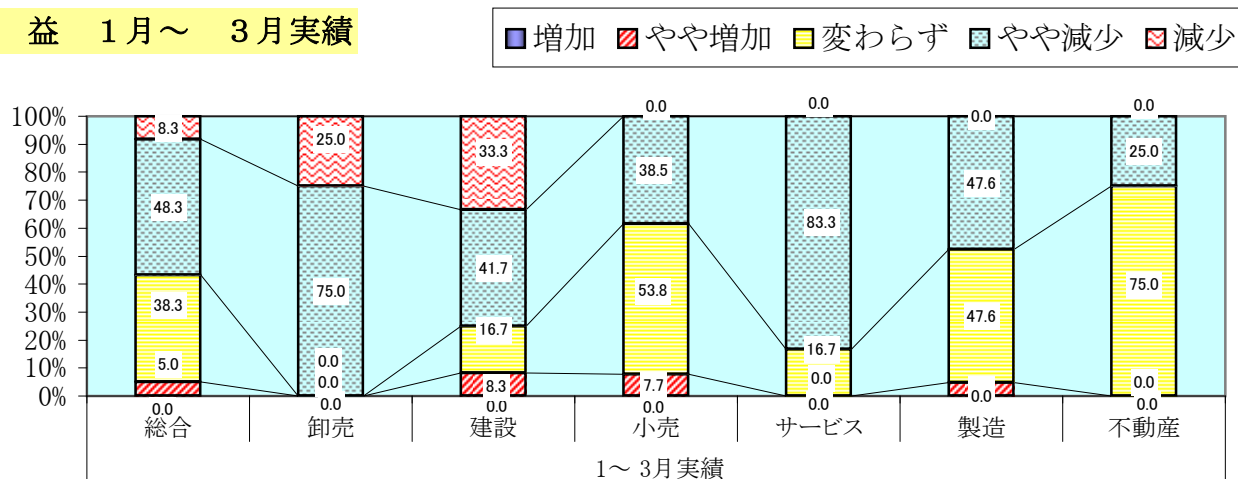


- 受注残(製造業、建設業のみ)D.Iは▲45.4で前期実績のD.Iの0.0に対し45.4ポイント下降し、前回調査における今期の予想D.I▲63.7に対しては18.3ポイント良化しました。また、4～6月期の受注残予想D.Iは15.1で、今期実績よりは60.5ポイント上昇を予想しています。
- 施工高(建設業のみ)D.Iは▲75.0で前期実績のD.Iの16.6に対し91.6ポイント下降し、前回調査における今期予想D.I▲50.0に対しても25.0ポイント悪化を示しました。ただ、4～6月期の施工高予想D.Iは25.0で、今期実績よりは100.0ポイントの大幅上昇を予想しています。

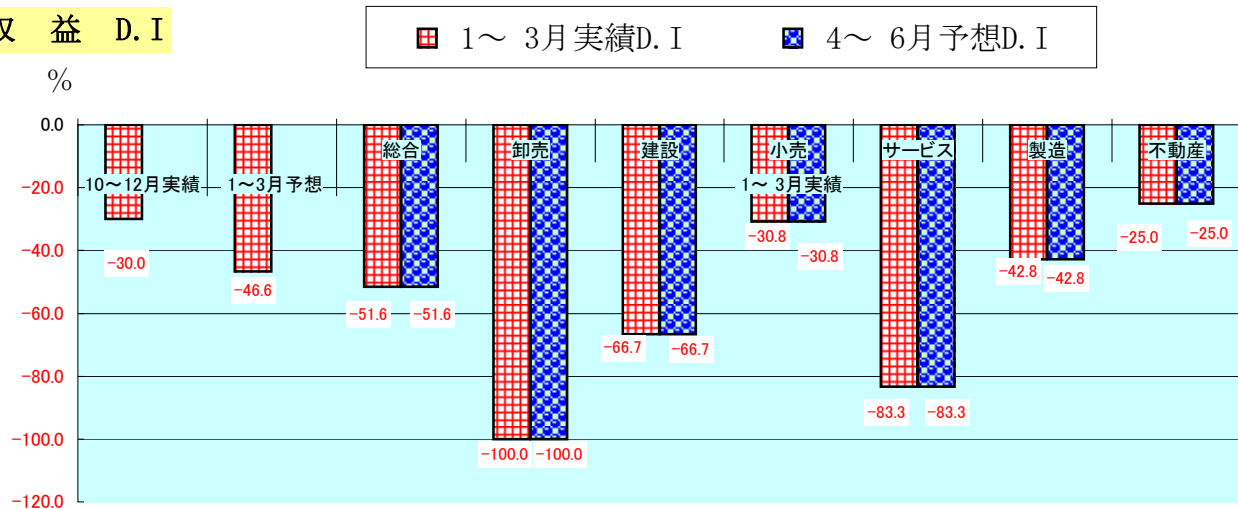
(3) 収益の動き

収益の動き	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I	
10～12月実績						-30.0		
1～3月予想						-46.6		
1～3月実績	総合	0.0	5.0	38.3	48.3	8.3	-51.6	-51.6
	卸売	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	-100.0	-100.0
	建設	0.0	8.3	16.7	41.7	33.3	-66.7	-66.7
	小売	0.0	7.7	53.8	38.5	0.0	-30.8	-30.8
	サービス	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	-83.3	-83.3
	製造	0.0	4.8	47.6	47.6	0.0	-42.8	-42.8
	不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0

収益 1月～3月実績



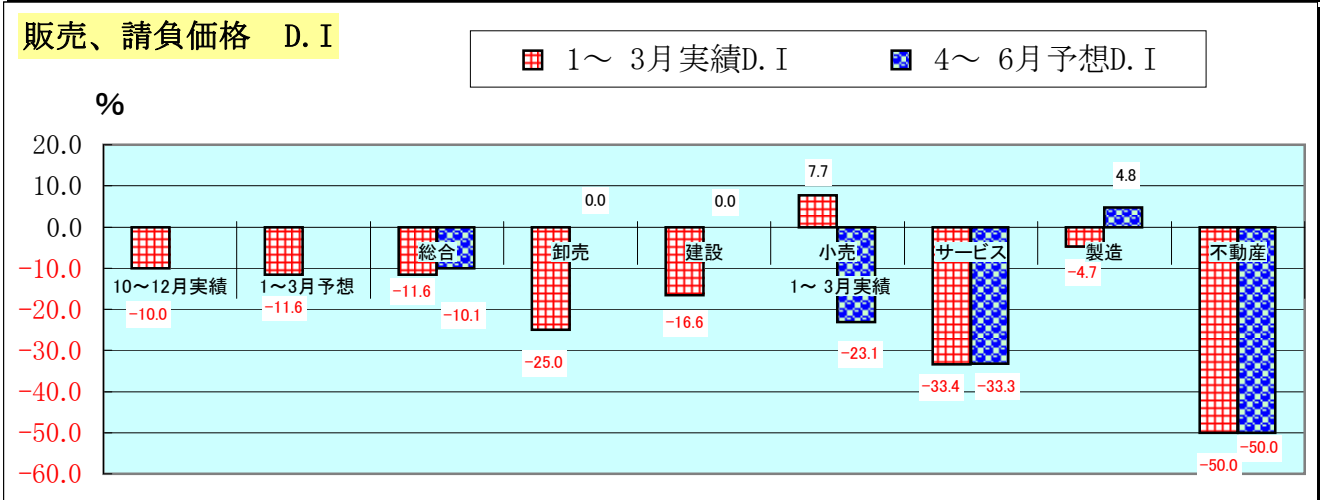
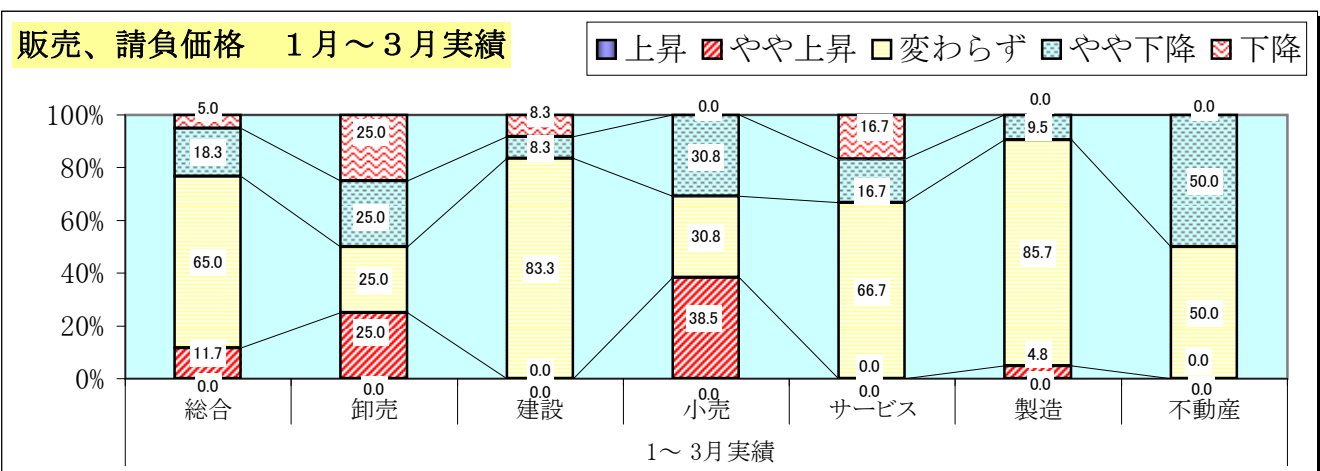
収益 D.I



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は5.0%、「やや減少」「減少」した企業は56.6%でD.Iは▲51.6となりました。
- 今期実績D.Iは、前期実績D.I▲30.0から21.6ポイント下降を示し、前回調査における今期の予想D.I▲46.6に対しても5.0ポイント下降しました。
- 業種別の今期D.Iでは全業種でマイナスを示しました。
- 4～6月期の収益予想D.Iは▲51.6で、1～3月期と変化ないと回答しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

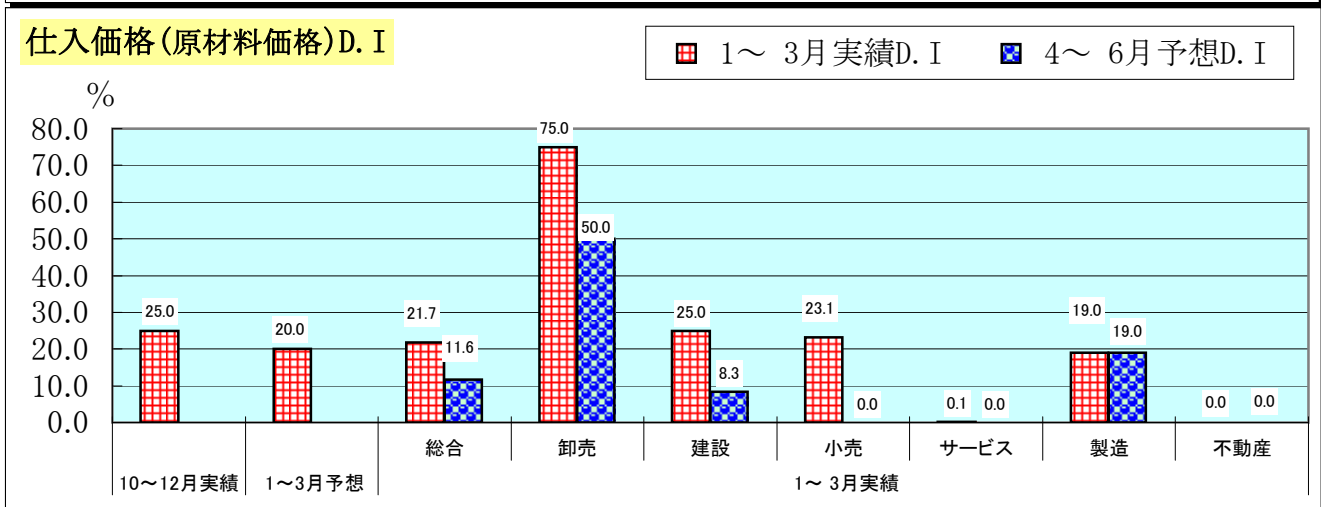
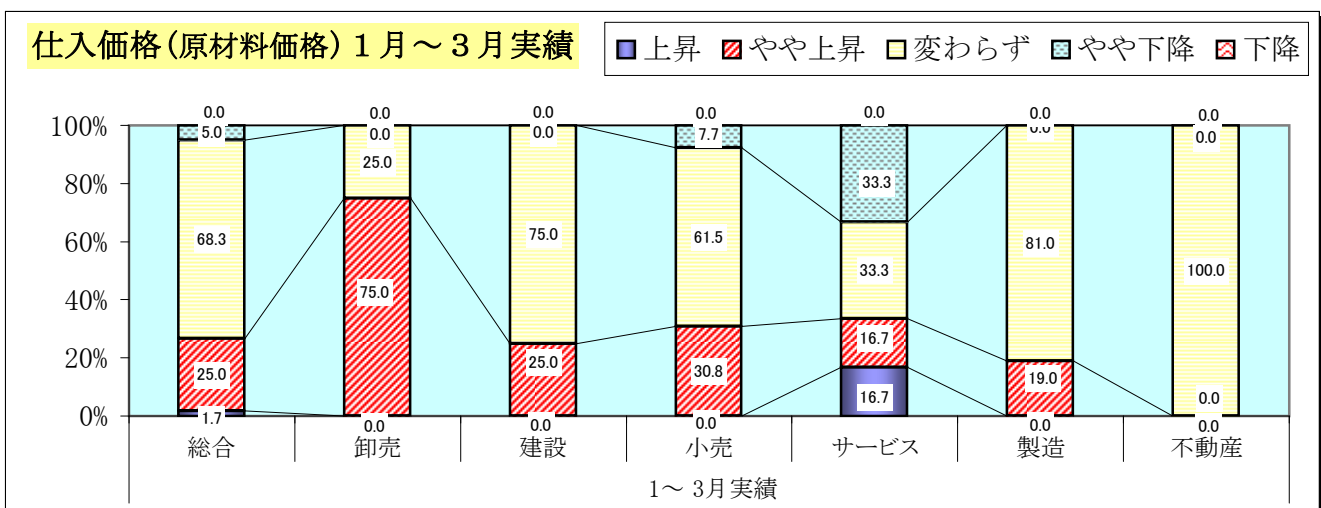
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-10.0	
1～3月予想							-11.6	
1～3月実績	総合	0.0	11.7	65.0	18.3	5.0	-11.6	-10.1
	卸売	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-25.0	0.0
	建設	0.0	0.0	83.3	8.3	8.3	-16.6	0.0
	小売	0.0	38.5	30.8	30.8	0.0	7.7	-23.1
	サービス	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	-33.4	-33.3
	製造	0.0	4.8	85.7	9.5	0.0	-4.7	4.8
	不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	-50.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が11.7%、「やや下降」「下降」と回答している企業が23.3%となり、D.Iは▲11.6となりました。
- 今期実績は、前期実績D.Iの▲10.0から1.6ポイント下降し、前回調査における今期予想D.I▲11.6と同数値を示しました。
- 業種別の今期D.Iは小売業のみがプラスを示しました。
- 4～6月期の販売価格予想D.Iは▲10.1で、1～3月期実績より1.5ポイント上昇を予想しています。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

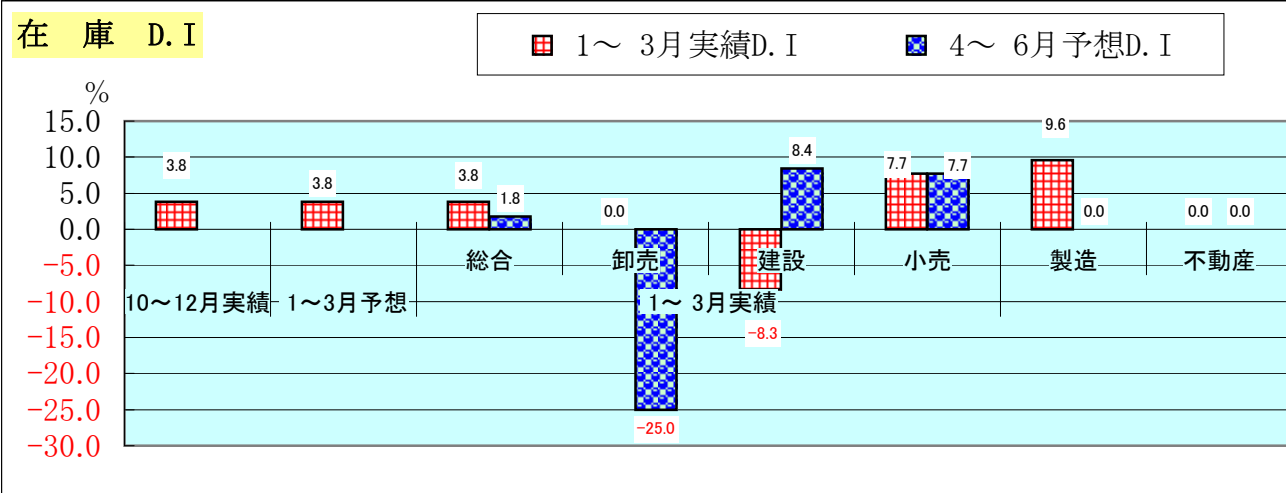
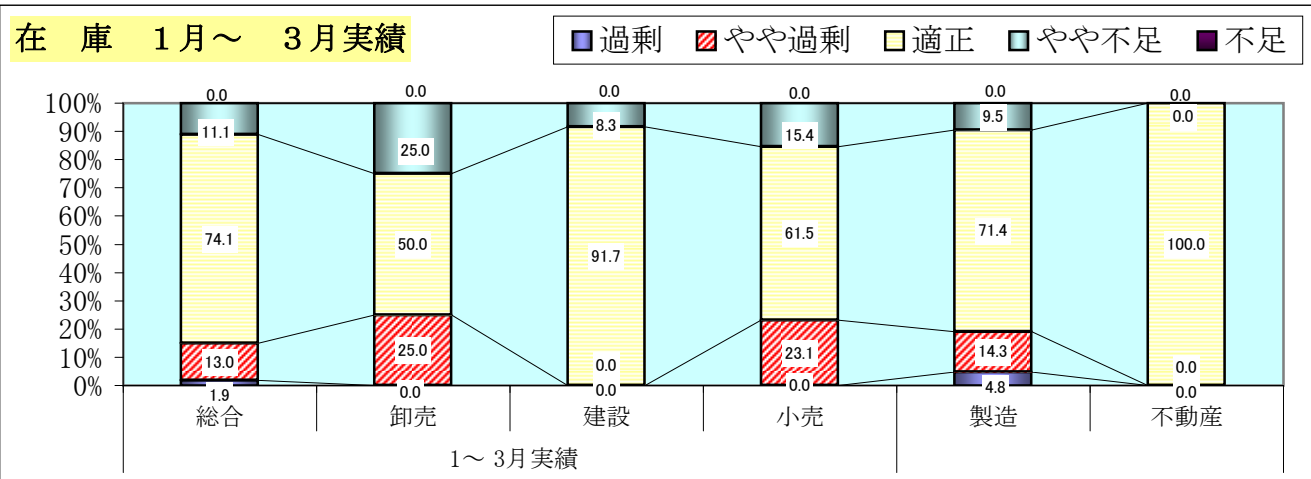
仕入価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						25.0	
1～3月予想						20.0	
1～3月実績							
総合	1.7	25.0	68.3	5.0	0.0	21.7	11.6
卸売	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0
建設	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	8.3
小売	0.0	30.8	61.5	7.7	0.0	23.1	0.0
サービス	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.1	0.0
製造	0.0	19.0	81.0	0.0	0.0	19.0	19.0
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が26.7%、「やや下降」「下降」と回答している企業が5.0%となり、今期実績D. Iは21.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D. Iの25.0から3.3ポイント下降し、前回調査における今期の予想D. Iの20.0より1.7ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期実績D. Iは不動産業を除き上昇を示しました。
- 4～6月期の仕入価格予想D. Iは11.6で、1～3月期実績より10.1ポイント下降を予想しています。

(6) 在庫の動き

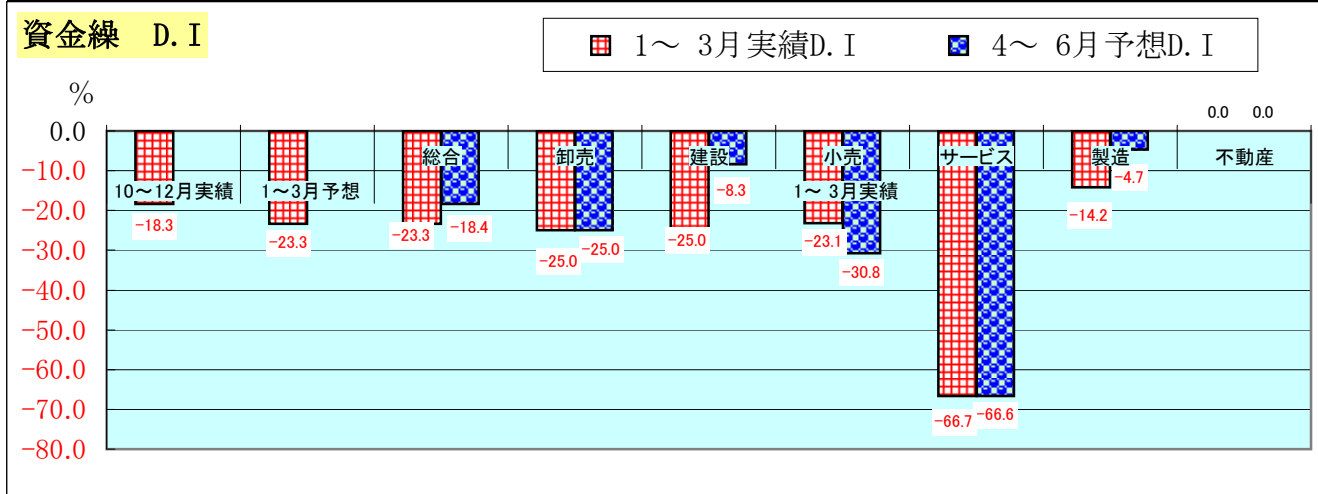
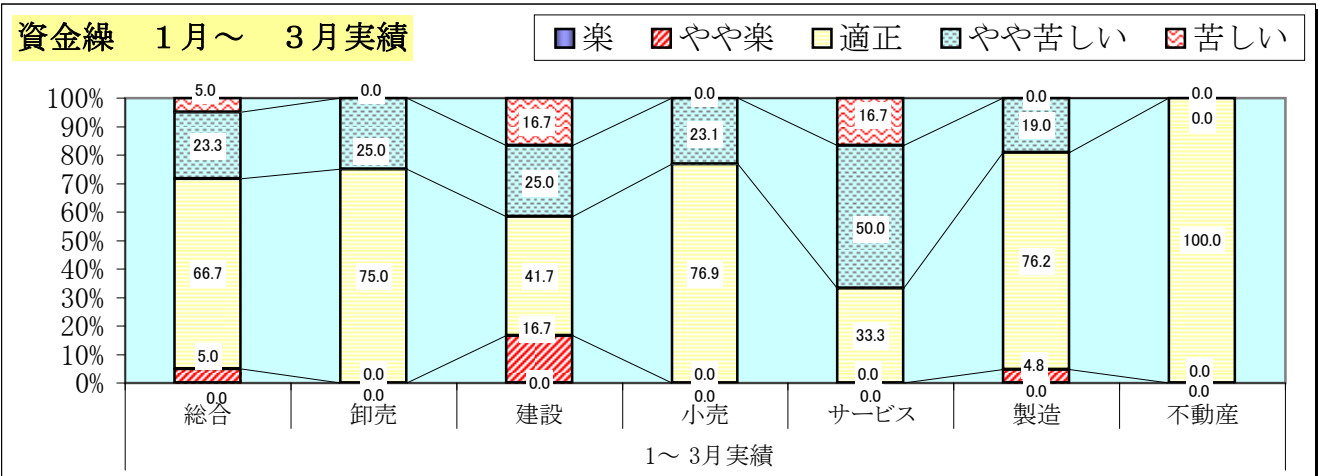
在庫	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						3.8	
1～3月予想						3.8	
1～3月実績 総合	1.9	13.0	74.1	11.1	0.0	3.8	1.8
卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	-25.0
建設	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	8.4
小売	0.0	23.1	61.5	15.4	0.0	7.7	7.7
製造	4.8	14.3	71.4	9.5	0.0	9.6	0.0
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が14.9%、「やや不足」「不足」と回答している企業が11.1%となり、今期D.Iは3.8となりました。
- 今期実績は、前期実績D.Iの3.8及び前回における今期の予想D.Iの3.8と同数値の結果となりました。
- 業種別の今期実績D.Iで建設業のみ不足を示しました。
- 4～6月期の在庫予想D.Iは1.8で、今期実績より2.0ポイント下降を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰	楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						-18.3	
1～3月予想						-23.3	
1～3月実績 総合	0.0	5.0	66.7	23.3	5.0	-23.3	-18.4
卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
建設	0.0	16.7	41.7	25.0	16.7	-25.0	-8.3
小売	0.0	0.0	76.9	23.1	0.0	-23.1	-30.8
サービス	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	-66.7	-66.6
製造	0.0	4.8	76.2	19.0	0.0	-14.2	-4.7
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

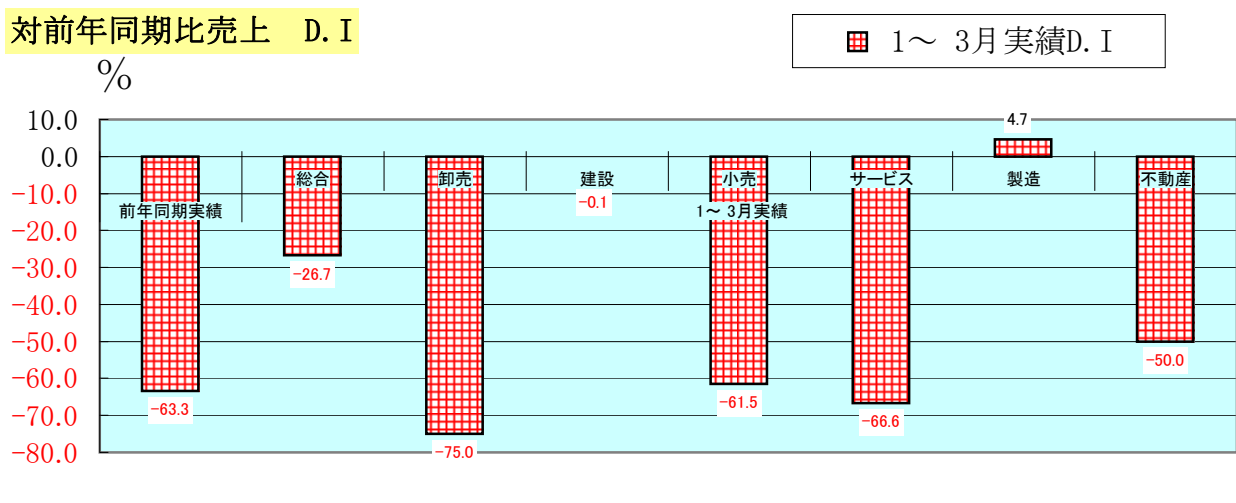
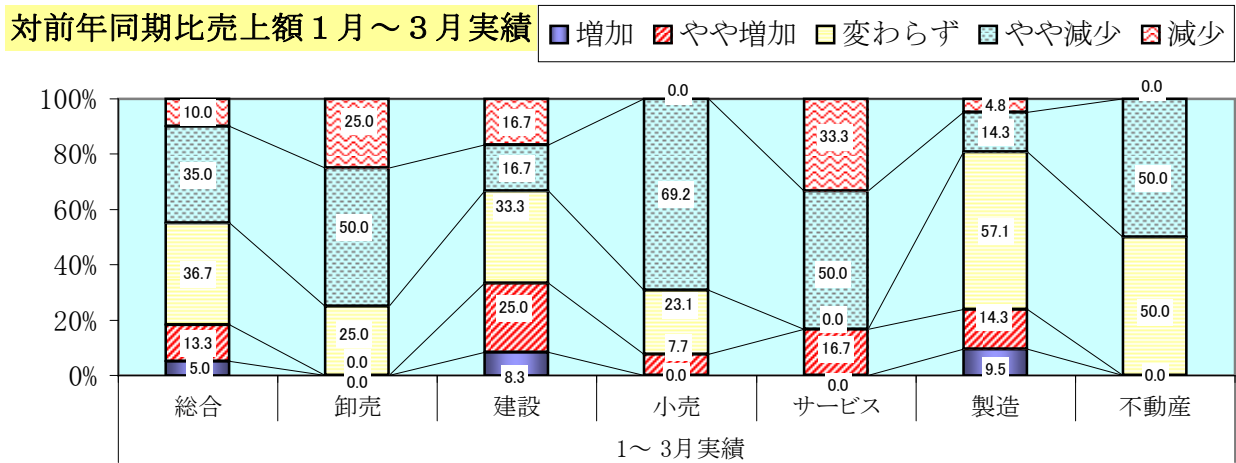


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が5.0%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が28.3%となり、今期D.Iは▲23.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I▲18.3から5.0ポイント下降し、前回調査における今期の予想D.Iの▲23.3と同数値を示しました。
- 業種別の今期実績は、不動産業を除き資金繰りは苦しい傾向を示しました。
- 4～6月期の予想D.Iは▲18.4で、今期実績より4.9ポイント改善すると予想しています。

3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

対前年同期比売上	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I
前年同期実績						-63.3
1～3月実績 総合	5.0	13.3	36.7	35.0	10.0	-26.7
卸売	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	-75.0
建設	8.3	25.0	33.3	16.7	16.7	-0.1
小売	0.0	7.7	23.1	69.2	0.0	-61.5
サービス	0.0	16.7	0.0	50.0	33.3	-66.6
製造	9.5	14.3	57.1	14.3	4.8	4.7
不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0



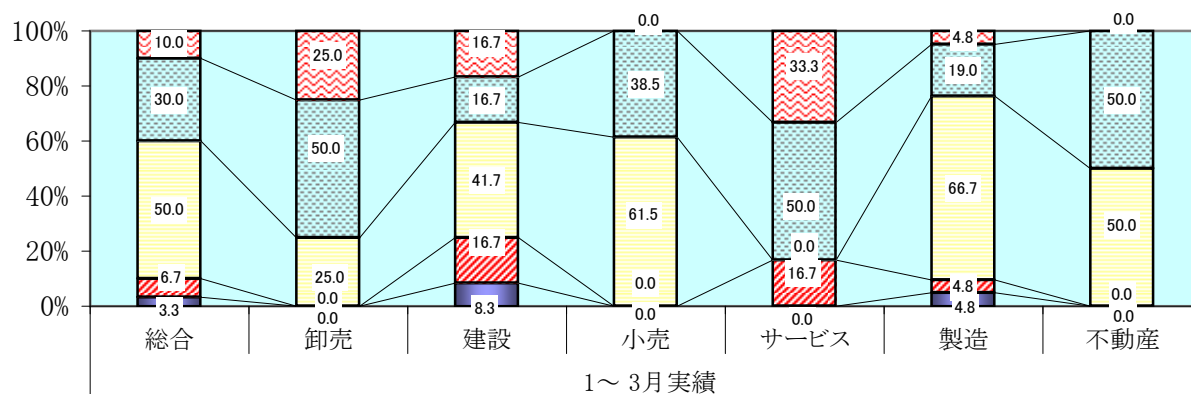
- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が18.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が45.0%となり、今期D. Iは▲26.7となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I▲63.3に対し36.6ポイント増加を示しました。
- 業種別では、製造業を除き減少傾向を示しました。

(2) 収益

対前年同期比収益	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I
前年同期実績						-63.3
1～3月実績						
総合	3.3	6.7	50.0	30.0	10.0	-30.0
卸売	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	-75.0
建設	8.3	16.7	41.7	16.7	16.7	-8.4
小売	0.0	0.0	61.5	38.5	0.0	-38.5
サービス	0.0	16.7	0.0	50.0	33.3	-66.6
製造	4.8	4.8	66.7	19.0	4.8	-14.2
不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0

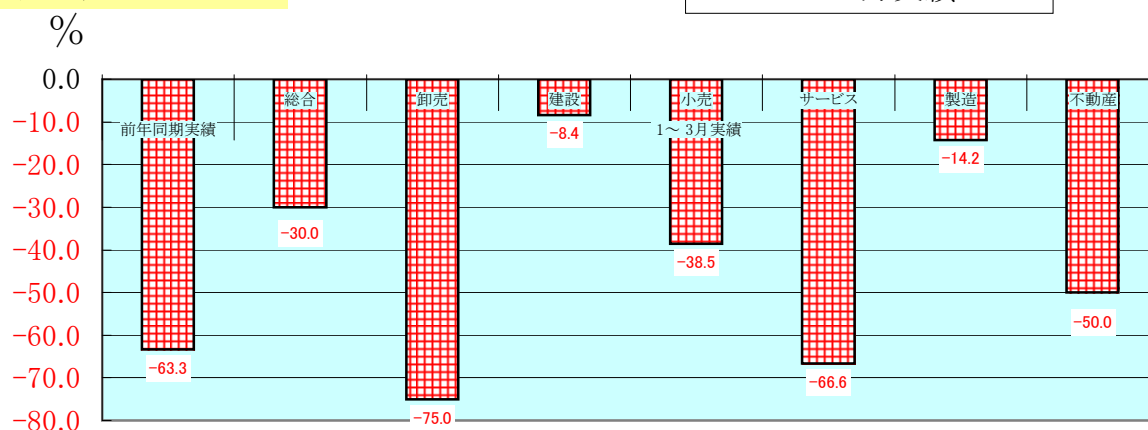
対前年同期比収益 1～3月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比収益 D.I

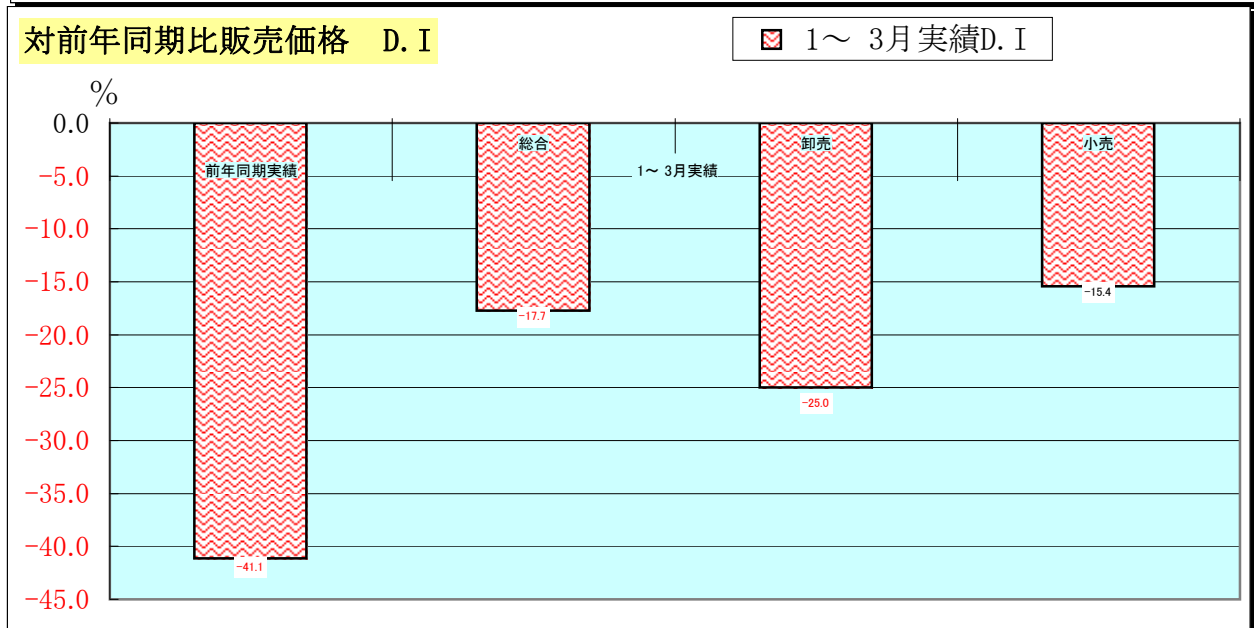
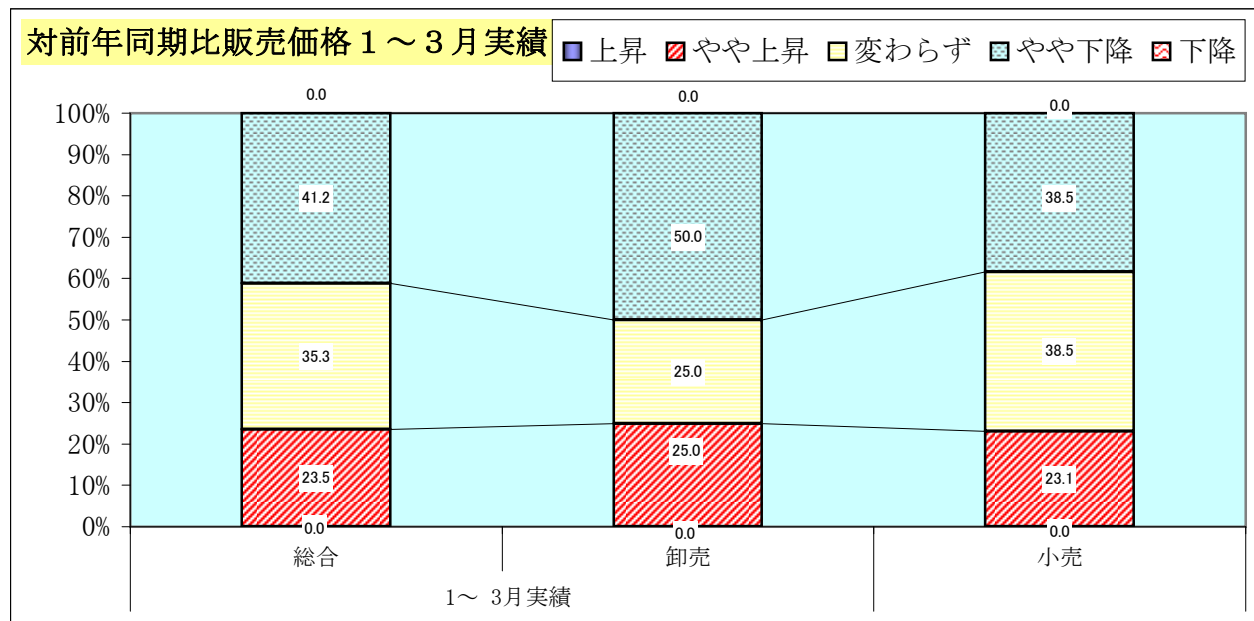
■ 1～3月実績D.I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が10.0%、「やや減少」「減少」と回答している企業が40.0%となり、今期D.Iは▲30.0となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.Iの▲63.3に対し33.3ポイント増加を示しました。
- 業種別では、全業種で減少傾向を示しました。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I
前年同期実績						-41.1
1～3月実績 総合	0.0	23.5	35.3	41.2	0.0	-17.7
卸売	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	-25.0
小売	0.0	23.1	38.5	38.5	0.0	-15.4

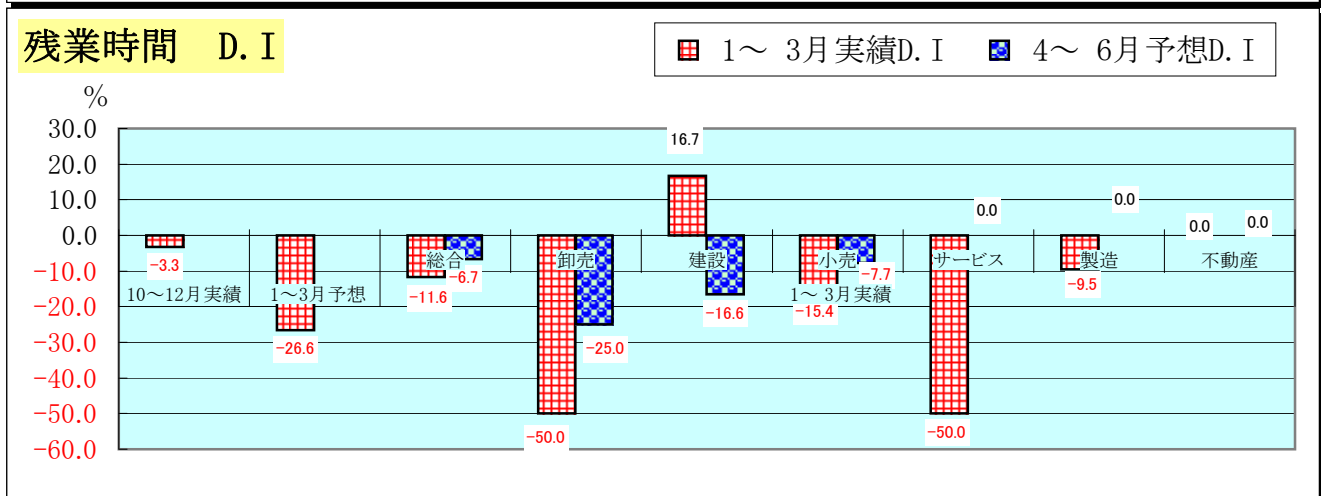
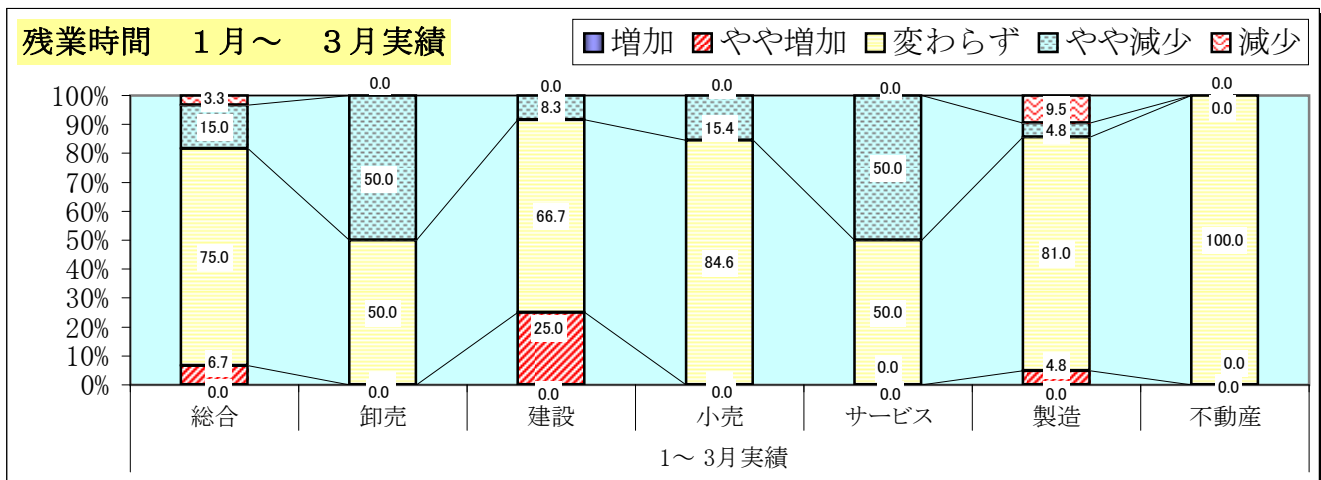


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業は23.5%で「やや下降」「下降」と回答している企業が41.2%となり、D. Iは▲17.7となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. Iの▲41.1に対し、23.4ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、卸売業・小売業共に下降しました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

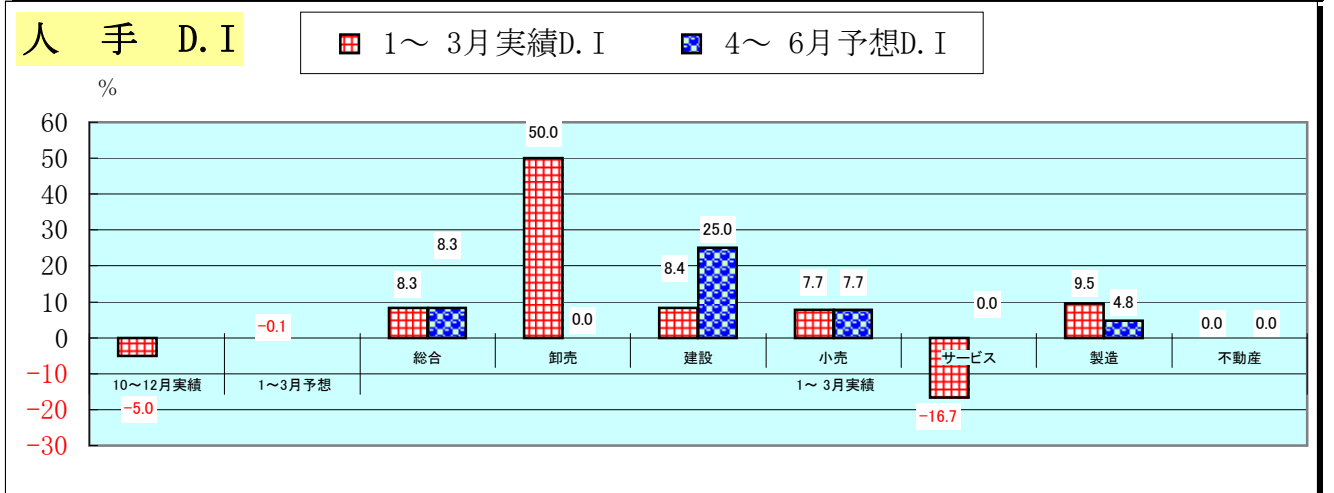
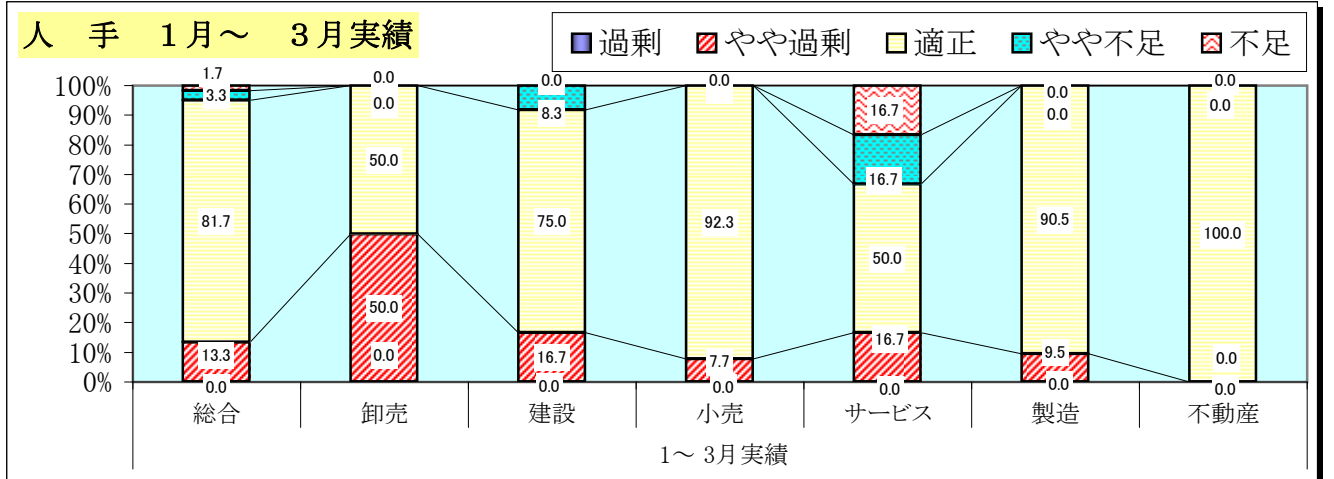
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-3.3	
1～3月予想							-26.6	
1～3月実績	総合	0.0	6.7	75.0	15.0	3.3	-11.6	-6.7
	卸売	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	-25.0
	建設	0.0	25.0	66.7	8.3	0.0	16.7	-16.6
	小売	0.0	0.0	84.6	15.4	0.0	-15.4	-7.7
	サービス	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	0.0
	製造	0.0	4.8	81.0	4.8	9.5	-9.5	0.0
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が6.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が18.3%となりD.Iは▲11.6となりました。
- 今期実績は前期実績比8.3ポイント減少し、前回調査における今期の予想D.I▲26.6より15.0ポイント増加しました。
- 業種別では、建設業のみ増加しました。
- 4～6月期の予想D.Iは▲6.7で、1～3月期実績より4.9ポイント増加を予想しています。

(2) 人手

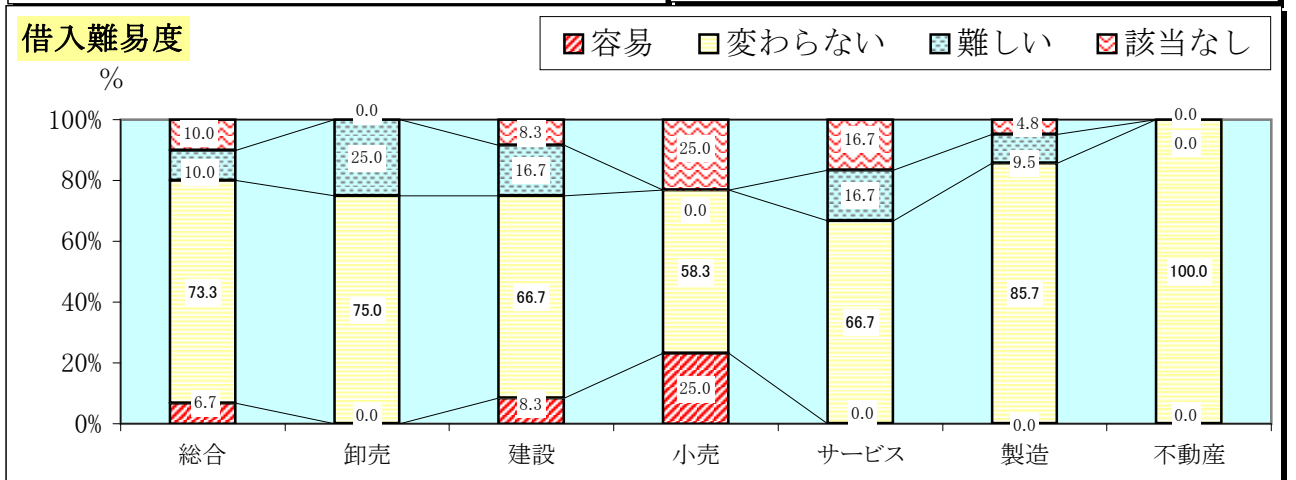
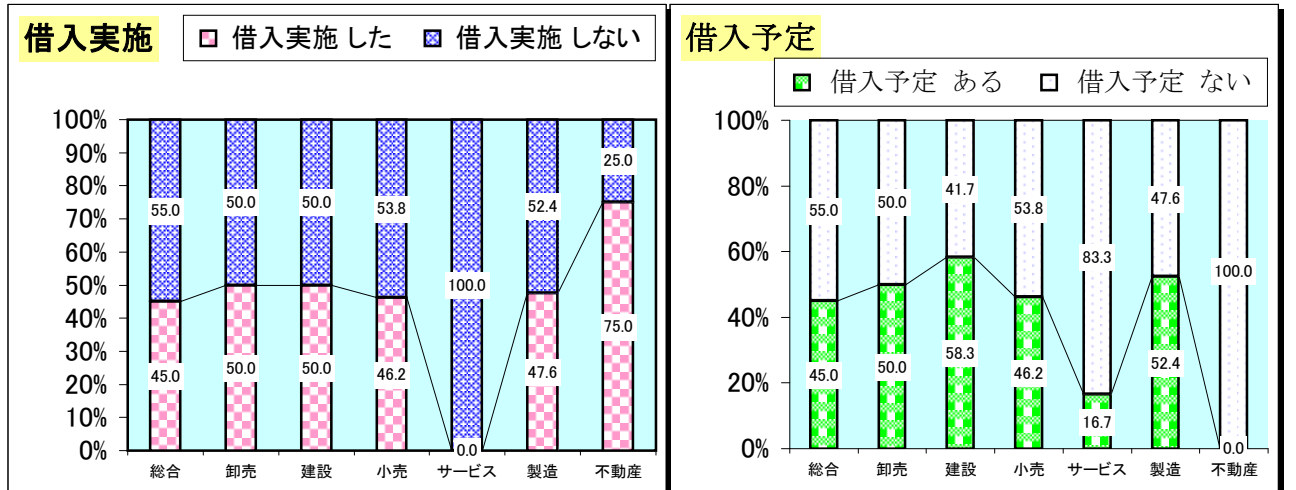
人手	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績						-5.0	
1～3月予想						-0.1	
1～3月実績							
総合	0.0	13.3	81.7	3.3	1.7	8.3	8.3
卸売	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
建設	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0	8.4	25.0
小売	0.0	7.7	92.3	0.0	0.0	7.7	7.7
サービス	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	-16.7	0.0
製造	0.0	9.5	90.5	0.0	0.0	9.5	4.8
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が13.3%、「やや不足」「不足」と回答している企業が5.0%となり、D.Iは8.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.Iより13.3ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D.Iの▲0.1から8.4ポイント上昇しました。
- 業種別の今期実績D.Iは、サービス業のみ不足を示しました。
- 4～6月期予想D.Iは8.3で、今期実績D.Iと変化ない回答となっています。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	45.0	55.0	45.0	55.0	6.7	73.3	10.0	10.0
卸売	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	75.0	25.0	0.0
建設	50.0	50.0	58.3	41.7	8.3	66.7	16.7	8.3
小売	46.2	53.8	46.2	53.8	25.0	58.3	0.0	25.0
サービス	0.0	100.0	16.7	83.3	0.0	66.7	16.7	16.7
製造	47.6	52.4	52.4	47.6	0.0	85.7	9.5	4.8
不動産	75.0	25.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

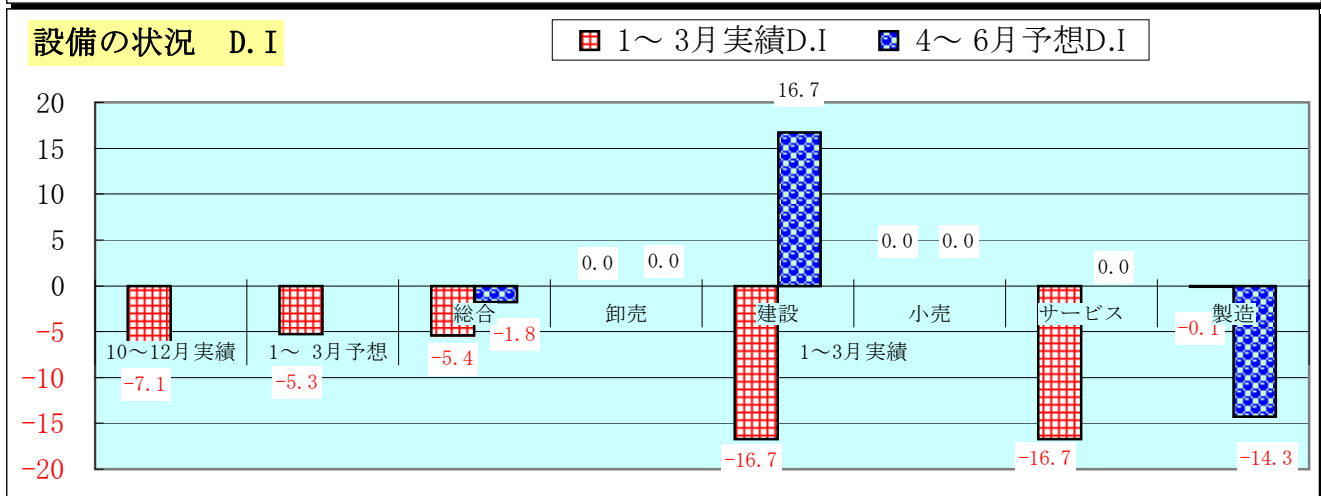
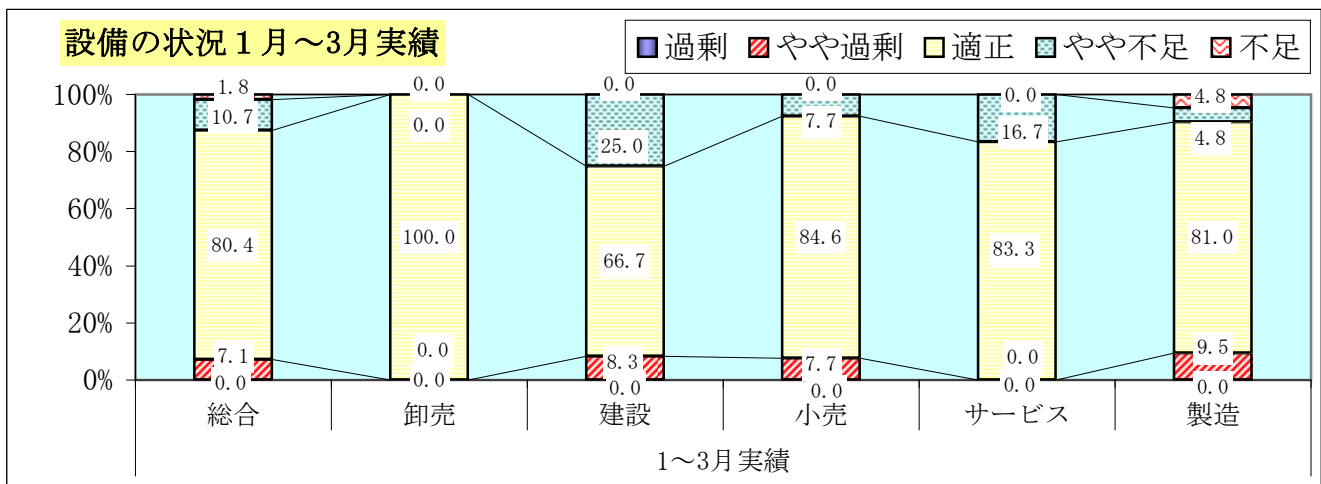


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の45.0%で、サービス業を除き実施しました。前期調査での借入実施率は53.3%でありましたから、今期の借入実施企業の割合はこれより8.3ポイント下降しています。
- 今後の借入予定では、45.0%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、建設・卸売・製造業が50%以上なっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が73.3%（前回71.7%）、以下「難しい」は10.0%（前回13.3%）、「容易」は6.7%（前回8.3%）となっており、前回調査時と借入難易度に大きな変化はありません。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-7.1	
1～3月予想							-5.3	
1～3月実績	総合	0.0	7.1	80.4	10.7	1.8	-5.4	-1.8
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	8.3	66.7	25.0	0.0	-16.7	16.7
	小売	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	0.0
	サービス	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	0.0
	製造	0.0	9.5	81.0	4.8	4.8	-0.1	-14.3



- 設備の状況（不動産業を除く）について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が7.1%、「不足」「やや不足」と回答している企業が12.5%となり、今期D.Iは▲5.4となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I▲7.1に対し1.7ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D.I▲5.3に対し、0.1ポイント下降を示しました。
- 業種別では、建設・サービス・製造業で不足を示しました。
- 4～6月期予想D.Iは▲1.8で、今期実績より3.6ポイント上昇を見込んでいます。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1月～3月(件数) 総合	1	1	5	1	5	0	47
卸売	0	0	1	0	0	0	3
建設	0	0	2	0	3	0	9
小売	0	0	0	0	0	0	13
サービス	1	1	0	1	1	0	4
製造	0	0	2	0	1	0	18

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4月～6月(件数) 総合	1	4	3	1	4	0	46
卸売	0	0	1	0	0	0	3
建設	0	1	1	0	4	0	8
小売	0	0	0	0	0	0	13
サービス	1	2	0	1	0	0	3
製造	0	1	1	0	0	0	19

- 設備投資（不動産業除く）の実施状況は、「実施した」企業が13件（全体の21.6%）で前期の20件から7件減少しました。
業種別内訳では、建設業が5件、サービス業4件、製造業3件、卸売業が1件、それぞれ実施しました。
実施した設備内容は、「車両」・「機械更改」各5件、「土地・建物」・「機械新增設」「事務機器」が各1件となっています。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答したのは13件(全体の22.0%)で、前期の11件から2件増加しました。
業種別内訳では、建設業6件、サービス業4件、製造業2件、卸売業1件となっています。
設備投資計画の内容を見ると「車両」・「機械新增設」が各4件、「機械更改」3件、「事務機器」・「土地・建物」が各1件となっています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）

（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	3	4	10	10	7	9	5	5	10	13	2	2	37	43	23.7	28.5
同業者間の競争激化	0	0	9	9	4	1	0	0	11	10	2	2	26	22	16.7	14.6
利幅の縮小	1	2	7	7	5	6	0	1	7	5	3	2	23	23	14.7	15.2
人件費の増加	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	5	1	3.2	0.7
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	0	5	2	3.2	1.3
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
大手企業（大型店）との競争激化	3	3	1	1	2	2	1	1	0	1	1	1	8	9	5.1	6.0
合理化の不足	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0	0	1	5	0.6	3.3
天候の不順	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	3	0.6	2.0
代金回収の悪化	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1.3	0.7
原材料高・材料価格の上昇	0	0	1	2	0	0	4	1	4	2	0	0	9	5	5.8	3.3
地場産業の衰退	0	0	3	1	1	1	1	0	2	2	0	0	7	4	4.5	2.6
集客力の低下	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	1.3	1.3
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.6	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1.3	0.7
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	1	1	0	1	4	2	0	0	5	4	3.2	2.6
人手不足	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	3	5	1.9	3.3
商圏人口の減少	0	0	0	0	4	3	1	0	0	0	0	0	5	3	3.2	2.0
取引先の減少	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	3	0.6	2.0
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	3	1.3	2.0
問題なし	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	2	0.6	1.3
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	2	0.6	1.3
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0.6	0.7
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.6	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.7
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.6	0.7
仕入先からの値上り要請	1	1	0	0	1	0	0	0	3	3	0	0	5	4	3.2	2.6
下請けの確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.6	0.0
合計	11	12	31	31	35	30	18	17	52	52	9	9	156	151	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として上げている項目を見ていくと

- 第1位～ 「売上の停滞・減少」 43 件
- 第2位～ 「利幅の縮小」 23 件
- 第3位～ 「同業者間の競争激化」 22 件

以上のとおり上位は前期と同じ項目が占めています。

前期	
第1位～ 売上の停滞・減少	40件
第2位～ 同業者間の競争激化	25件
第3位～ 利幅の縮小	21件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
製造業	売上の停滞・減少 13	同業者間の競争激化 10	利幅の縮小 5
小売業	売上の停滞・減少 9	利幅の縮小 6	商圏人口の減少 3
建設業	売上の停滞・減少 10	同業者間の競争激化 9	利幅の縮小 7
サービス業	売上の停滞・減少 5	工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化 2	

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）

（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	2	3	10	10	9	7	4	3	15	19	3	3	43	45	30.7	30.8
販路を広げる	3	3	10	11	0	0	1	2	15	17	2	2	31	35	22.1	24.0
情報力を強化する	0	0	7	4	0	0	0	0	9	9	0	1	16	14	11.4	9.6
人材を確保する	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	0	0	4	3	2.9	2.1
技術力を強化（高める）	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	2.1	3.4
流通経路の見直しをする	0	0	1	0	0	0	0	0	4	5	0	0	5	5	3.6	3.4
機械化を推進する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.7	0.7
パート化を図る	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	1	2.9	0.7
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1.4	0.0
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.7	1.4
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1.4	0.7
新しい事業を始める	0	0	0	0	3	4	2	4	0	0	0	3	5	11	3.6	7.5
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	3	4	2.1	2.7
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0.7	0.7
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.1
特になし	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0.7	0.7
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	3	1	2.1	0.7
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1.4	0.7
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	2.1	0.7
営業時間を延長する	0	1	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	5	7	3.6	4.8
提携先を見つける	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0	2.1
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.7	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.7	0.7
合計	7	7	33	32	30	30	14	13	48	55	8	9	140	146	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 45 件
 第2位～ 「販路を広げる」 35 件
 第3位～ 「情報力を強化する」 14 件

前期
第1位～ 「経費を節減する」 43 件
第2位～ 「販路を広げる」 31 件
第3位～ 「情報力を強化する」 16 件

と上位3位までは前期と同じ項目が占めています。

以下 「新しい事業を始める」 11 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位	
製 造 業	経費を節減する	19	販路を広げる	17
建 設 業	販路を広げる	11	経費を節減する	10
小 売 業	経費を節減する	7	営業時間を延長する	6
サービス業	新しい事業を始める	4	経費を節減する	3

特別調査

「デフレ不況下の中小企業経営」

問 1

近年、物価や地価などの下落といった、いわゆる「デフレ」が進展していますが、貴社の経営にとってどのように影響していますか。下記の中から1つ選んでお答え下さい。

	1. 悪影響ばかりである	2. どちらかといえば悪影響の方が多	3. 好影響ばかりである	4. どちらかといえば好影響の方が多	5. 好悪の影響は拮抗している	6. 好悪とも影響はない				
合計（構成比）	10%	66%	2%	0%	8%	14%				
総合	6	39	1	0	5	8				
卸売	0	4	0	0	0	0				
建設	1	7	0	0	1	3				
小売	2	7	1	0	2	1				
サービス	2	4	0	0	0	0				
製造	1	14	0	0	1	4				
不動産	0	3	0	0	1	0				

上記質問に対して、「どちらかといえば悪影響の方が多」が66%、「悪影響ばかりである」が10%で計76%を占めており、全体的に悪影響を実感している。

問 2

貴社の企業経営上、デフレの進展によるマイナス面の影響度合いが大きいものについて、3つ以内で選んでお答え下さい。

	1. 他社との価格競争の激化	2. 販売価格・発注単価の引下げ要求	3. 中国等海外からの安価な輸入品の脅威	4. 低金利等による余剰資金の運用難	5. 担保価値目減り等による資金調達難	6. 遊休地の売却・活用が困難化	7. 消費マインドの低迷	8. 倒産・失業の増加など社会の不安定	9. 商店街・地域経済の衰退	10. 特になし
合計（構成比）	23%	20%	7%	0%	1%	4%	13%	13%	14%	5%
総合	30	26	8	0	1	5	17	17	18	7
卸売	2	1	1	0	0	0	3	0	2	0
建設	7	5	0	0	1	2	2	5	3	1
小売	6	4	0	0	0	1	7	3	6	2
サービス	2	1	0	0	0	0	3	4	4	0
製造	11	13	7	0	0	0	1	5	2	4
不動産	2	2	0	0	0	2	1	0	1	0

上記質問に対しては、「他社との価格競争の激化」23%がトップ、「販売価格・発注単価の引下げ要求」が20%、「商店街・地域経済の衰退」が14%で続いている。

問 3

デフレが進展する中、貴社ではどのような経営方針を採用していますか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

	1. 販売価格・受注単価を引下げ	2. 高付加価値化で差別化を図る	3. 仕入原価の削減	4. 設備投資の積極化	5. 従業員数や賃金の見直し	6. 外国人労働者の受入	7. 中国海外への進出、輸入の活用	8. 借入金の返済	9. 新商品開発、新分野進出	10. 特にデフレ対策は講じない
合計（構成比）	15%	12%	27%	0%	19%	1%	1%	4%	6%	15%
総合	15	13	27	0	19	1	1	4	6	15
卸売	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0
建設	2	2	5	0	5	0	0	1	2	3
小売	3	2	6	0	5	0	0	2	0	5
サービス	1	1	3	0	4	0	0	0	0	0
製造	5	7	9	0	4	1	1	0	4	7
不動産	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0

上記質問に対しては、「仕入原価の削減」27%がトップ、「従業員数や賃金の見直し」が19%、「販売価格・受注単価を引下げ」及び「特にデフレ対策は講じない」が15%で続いている。

特別調査

「デフレ不況下の中小企業経営」

問 4 デフレ不況に対して政府のとるべき施策について、下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

	1. 信用保証条件の緩和など金融対策	2. 公共事業などによる需要創出策	3. 規制緩和や民営化による需要喚起策	4. 日銀による資金供給の拡大	5. 円安への誘導策、株価の高揚策	6. 所得税・法人税などの税制改革	7. セーフガードなど輸入規制の発動	8. 不当廉売など不正取引の規制強化	9. 大型店の出店規制の強化	10. 政府に期待していない
合計（構成比）	13%	26%	8%	5%	6%	19%	5%	4%	2%	12%
総 合	15	30	9	6	7	22	6	5	3	14
卸 売	2	1	0	1	1	1	1	1	1	0
建 設	3	11	3	0	1	4	1	0	0	1
小 売	0	7	1	1	0	4	1	3	1	6
サ ー ビ ス	2	2	1	1	1	3	0	0	0	1
製 造	8	9	4	2	3	8	3	1	0	5
不 動 産	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1

上記質問に対しては、「公共事業などによる需要創出策」26%がトップ、「所得税・法人税などの税制改革」が19%、「信用保証条件の緩和など金融対策」が13%で続いている。

問 5 現在のデフレ不況から回復するきっかけとして、貴社が期待するものはありますか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

	1. 政府による何らかの需要刺激策	2. 選挙など日本の政治の変化	3. 海外経済の回復・成長	4. 大ヒット商品出現による社会構造の変化	5. 医療・環境など新産業分野の振興	6. オリンピック、万博などのイベント	7. 地元特有のイベント	8. その他	9. きっかけはなくてもいずれ回復する	10. 当面は回復しない
合計（構成比）	33%	12%	12%	0%	4%	1%	11%	0%	2%	25%
総 合	32	11	11	0	4	1	10	0	2	24
卸 売	3	0	0	0	1	0	1	0	0	2
建 設	8	5	1	0	2	0	2	0	0	4
小 売	2	2	1	0	1	1	3	0	2	7
サ ー ビ ス	4	2	1	0	0	0	3	0	0	1
製 造	14	2	8	0	0	0	1	0	0	7
不 動 産	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

上記質問に対しては、「政府による何らかの需要刺激策」が33%でトップを占める反面、次には「当面は回復しない」25%の悲観的な回答が続いています。